

官報

號外

明治四十三年二月二十三日

水曜日

印刷局

○第二十六回 帝國議會 衆議院議事速記録第十二號

明治四十三年二月二十二日(火曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十一號 明治四十三年二月二十二日

午後一時開議

質問

- 一 國定教科書漢字限定ニ關スル質問(澤來太郎)
- 二 米價ニ關スル質問(內藤魯一)
- 三 海事政策殊ニ其航業上ノ監督及實績ニ關スル質問(武田貞之)
- 四 緊急勅令ニ關スル質問(花井卓藏)

第一 明治四十年法律第四十四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 (特別報告第二十二號)青森港修築ノ請願外二件 (委員長報告)

第六 (特別報告第二十三號)本邦清酢業ニ關スル請願 (委員長報告)

第七 (特別報告第二十四號)鍼灸術營業取締規則中改正ノ請願 (委員長報告)

第八 (特別報告第二十五號)郵便局再設ノ請願 (委員長報告)

第九 (特別報告第二十六號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

第十 (特別報告第二十七號)郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○副議長(肥塚龍君) 今日ハ議長ガ差支ガゴザイマスカラ私が代理ヲ致シマス

是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

行政裁判法中改正法律案

外國人ノ土地所有權ニ關スル法律案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

市町村會議員選舉罰則中改正法律案

提出者 石橋 爲之助君 加瀬 禧逸君 武田 貞之助君

荷造改良ニ關スル建議案

提出者 遠藤 吉平君

滿洲銀行設立ニ關スル建議案

提出者 元田 肇君 原田 十衛君 橫山 寅一郎君

陪審制度設立ニ關スル建議案

提出者 松田 源治君 鵜澤 總明君 齋藤 二郎君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

提出者 阿部 德三郎君 富島 暢夫君

一 武田貞之助君ヨリ海事政策殊ニ其航海上ノ監督及實績ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 花井卓藏君ヨリ緊急勅令ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一 政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ

非常特別稅特ニ地租輕減ニ關スル質問主意書(桂大藏大臣)

衆議院議員清水市太郎君提出非常特別稅特ニ地稅輕減ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十三年二月十七日 內閣總理大臣 侯爵 桂太郎

衆議院議長長谷場純孝殿

衆議院議員清水市太郎君提出非常特別稅法特ニ地租輕減ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

非常特別稅ノ整理ニ付テハ政府ハ財政ノ許ス限り之カ整理ヲ適當ニ實行スルヲ怠ラス

右及答辯候也

明治四十三年二月十五日 大藏大臣 侯爵 桂太郎

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 去十九日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

借地ニ關スル法律案

戶水 寬人君 江原 節君 秋岡 義一君

三浦 盛德君 富島 暢夫君 石田 仁太郎君

奧田 柳藏君 高木 益太郎君 松尾 寅三君

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案

上埜 安太郎君 三浦 覺一君 福岡 精一君

岩本 晴之君 有田 源一郎君 佐藤 貞雄君

大内 暢三君 牧野 平五郎君 藤澤 元造君

鑛業法中改正法律案 手塚 正次君 安藤 新太郎君 高 森 新君

遠藤 吉平君 齋藤 二郎君 山田 又七君

堀江 覺治君 安東 敏之君 大西 五一郎君

拘留科料ニ關スル裁判法案 夏井 保四郎君 篠井 甚吉君 佐々木 文一君

安川 保次郎君 松野 祐次郎君 木村 格之輔君

小河 源一君 清水 市太郎君 卜部 喜太郎君

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案 宮古 啓三郎君 熊本 壽人君 齋藤 二郎君

飯田 新右衛門君 西山 彰君 池田 藤八郎君

木下 謙次郎君 木村 良君 服部 綾雄君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ 借地ニ關スル法律案委員會 委員長 戸水 寛人君 理事 富島 暢夫君

明治三十七八年戰役ノ爲損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案委員會 委員長 上埜 安太郎君 理事 三浦 覺一君

鑛業法中改正法律案委員會 委員長 遠藤 吉平君 理事 齋藤 二郎君

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案委員會 委員長 熊本 壽人君 理事 木下 謙次郎君

拘留科料ニ關スル裁判法案委員會 委員長 卜部 喜太郎君 理事 夏井 保四郎君

一豫算委員理事左ノ通り補選當選セラレタリ 木村 省吾君(渡邊千冬君補選)

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス) 米價ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也 明治四十三年二月十五日

提出者 內藤 魯一 贊成者 鈴木 友治郎

外二十九人 我カ國ノ如キ國柄トシテハ自國ノ生存ニ大ナル影響ヲ及スヘキ米價ノ如キハ之

ニ適好ノ價格ヲ保タシムヘキ不拔ノ方法ヲ確定シ置カサルヘカラス 然ルニ今ヤ米價ノ崩落ヲ防止セムニハ輸入米關稅率ノ改正ヲ要トス是レ刻下ノ一大急務ナリ

二 然レトモ政府若之ヲ非ナリトセハ別ニ永久的ニ相當ノ方法ヲ案出シ之ヲ以テ帝國議會ニ臨マサルヘカラス

三 抑又政府若ノ主義ハ此ノ米價崩落ノ如キハ之ヲ自然ノ成行ニ任セ以テ依然現狀ノ儘ニ放置セムトスルノ方針ナリヤ

右及質問候也 海軍政策殊ニ其ノ航業上ノ監督及實績ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也 明治四十三年二月十九日

提出者 武田 貞之助 贊成者 高木 益太郎

外二十九人 第一 海軍政策殊ニ其ノ航業上ノ監督及實績ニ關スル質問主意書

第一 政府ハ被保護會社ニ對スル監督權ヲ嚴格且適當ニ行使シ居ルヤ否 政府ハ數多ノ被保護會社ノ航業一切ニ關シ能ク之ヲ監督シ又能ク之ニ指教ヲ加フヘキハ法規ノ命スル處ナル而已ナラス 政務中一大緊要事項タルハ論ヲ俟タサルナリ然ルニ

今例之ハ彼ノ東洋汽船會社ノ如キ引續キ數回ノ一大缺損ヲ出シ而カモ同會社ハ最有利ナル遠洋航路補助法案ヲ確定後俄ニ計算粗圖ノ名義ノ下ニ巨額八十萬圓ノ損失ヲ計上シ當期モ亦猶ホ缺損ヲ見ルヘシト傳フ政府當局者ハ如何ナル方法手段ニ依リ監督ヲ爲シツアルヤ又彼ノ日清汽船會社ニ對シテモ如何

第二 一年一年ト増加シツアル非常高度ノ保護金ハ國家國民ニ著々效果實益ヲ與ヘツアリト認ムルヤ否

提案者ハ現時ノ我カ保護金ニ對シ非常高度ト云フ蓋獨逸ノ約五六倍(噸數割ヨリスレハ)ニ該當シ又假ニ米國議會カ新ハンフエー案ヲ通過セシムルモ我カ保護金ハ約二倍大ノ高度ニ達シアレハナリ然ルニ

(一) 年々一割二步ノ多キ配當ヲ爲シツアル日本郵船會社ハ成カ帝國ノ旅客及貨物ニ關シテハ他ノ外國會社ノソレヨリハ低廉ナルヤ將又他ニ何等特種ノ便利利益ヲ我カ國家國民ニ與ヘツアリヤ

(二) 彼ノ清國長江航路ノ成績ハ満足スヘカラサルニアラスヤ

(三) 東洋汽船會社カ南米出稼人ニ幾部ノ割引ヲ與ヘツアルモ未ダ新ニ國民ヲ利スルモノアルヲ聞カサルニアラスヤ

而カモ右郵船會社ノ如キ帝國領土内タル一小臺灣航路ニ他ノ內國船ト蝸牛角上ノ爭ヲ爲シツアリ他ニ何等發展ノ見ルヘキモノナキニアラスヤ

第三 政府ハ現時ノ保護金ノ配當方法ハ均衡上、實際上適當ノモノト思料スルヤ將來改善ヲ爲シ按排其ノ宜シキヲ得セシムル意見ヲ有セサルヤ否

(一) 長き歲月ノ間保護ニ浴シ最有利ナル歐洲線モ始メテ航海ノ開始ヲ爲シタル北米タコマ線モ共ニ同一ノ保護率ナルハ如何、又何レノ遠洋航路モ悉ク最高度ノ保護率ニ依ラサルヘカラサル必要アリヤ、此ハ法律制定ノ精神ニモ背反セサルヤ

(二) 總テノ線路ニ對シ將來猶モ同一方法ヲ襲踏スル者ナルヤ如何
右及質問候也

○副議長(肥塚龍君) 諸君ニ御諮ラ致シマスガ、金尾稜嚴君病氣ニ付キ二十二日ヨリ十日間請假ノ許可ヲ得タイト云フコトデアリマスガ、許可シテ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナイト認メマスカラ、許可スルコトニ致シマス、次ニ裁判所構成法中改正法律案委員中村啓次郎君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ直ニ其補缺トシテ岡田泰藏君ヲ指名致シマス、次ニ拘留料ニ關スル裁判法案委員後井甚吉君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ其補缺トシテ松田源治君ヲ指名致シマス、次ニ營業稅法中改正法律案委員鈴木久五郎君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ其補缺トシテ稻茂登三郎君ヲ指名致シマス、次ニ製鹽地整理ニ關スル法律案委員藤澤幾之輔君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ其補缺トシテ大津淳一郎君ヲ指名致シマス、關稅定率改正法律案委員午後一時ヨリ開會シタイト云フ委員長野田卯太郎君ヨリ請求ガアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) ソレハ許可スルコトニ致シマス、ソレカラ裁判所構成法中改正法律案委員會ヲ本會開會中開キタイト云フ、委員長關信之介君ヨリ請求ガアリマスガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス——國定教科書漢字限定ニ關スル質問、澤來太郎君

(澤來太郎君登壇)

○澤來太郎君 國定教科書漢字限定ニ關スル質問ノ理由ヲ述べマス、現政府ノ政

治ヲ行フ其方法態度ヲ見マスルト、往々ニシテ見當違ヒヲサレテ、反對ニ却テ得タナシテ居ル趣ガアルデアリマス、之ニ依ッテ思フニ、國民教育ニ對スル文部大臣ノ御方針ナルモノモ亦所謂今ノ政府式ニ依リマシテ、或ハ見當違ヒヲサレテ居ルデハナカラウカト疑ハル、ノデアリマス、夫故ニ此問題ニ付テ質問ヲ試ミントスルデアリマス、而シテ此問題ハ讀シテ字ノ如ク、之ヲ表面カラ見マスレバ至ッテ輕微ナル如キ問題デアリマスケレドモ、其國家國民ニ關スル影響ノ上カラ申シマスレバ、實ニ重大ナル問題ニナッテ居ルデアリマス、何トナレバ國家ノ主モナル要素タル此國民ヲ作ルト云フデアリマスカラシテ、單リ現代ニ大影響アルノミナラズ、後代永劫ニ亘ッテ大ナル影響ヲ持ッテ居ル問題デアリマス、而シテ本員ノ政府當局ニ贊サント欲スルコロノ要領ハ、第一小學校用教科書漢字制限ノ標準ハドウデアアルカト云フコトデアル、第二ハ國民教育用文字ト、官府法令用文字トノ大ナル懸隔ヲバ之ヲ如何ニセントスルカト云フデアリマス、第三ハ右文字ノ懸隔ハ當局者ハ適當ニ調和スルノ必要ヲ認メザルカ、第四ハ若シ今ノ當局者モ其必要ヲ認メテ居ルト云フナラバ、其方法ハ如何デアルカ、此四個ノ要領ニ過ギヌデアリマス、諸君、此國家ノ即チ國家的教育ナルモノハ、御承知ノ通り時代ノ政治方針ニ伴フモノデアリマス、故ニ此政體政治ガ變レバワレニ伴ウテ又此教育ノ方針モ變テ來ナケレバナラヌ必然ノ結果デアラウト思フ、然ルニ今ノ當局者ノヤルトコロヲ以テ見マスルト云フト、惜イ哉專制時代ニ行フベキトコロノ教育方針ヲバ憶面モナク此立憲時代ニ向ッテ行ッテ居ルデハナイカト思フデアリマス、何トナレバ專制時代ニ於キマシテハ、所謂由ラシムベク知ラシムベカラズト云フノガ、即チ政治ヲ行フノ根本精神ニナッテ居ルデアル、而シテ立憲時代ニ於キマシテハ是ト反對致シマシテ、知ラシムベク而シ又由ラシムベシト云フデアリマスカラシテ、マルデ黑白ノ差ガアルデアリマス、サレバ此立憲時代ノ政治ナルモノハ、上下心ヲ同ウシテ民ノ心ハ官之ヲ知り、官ノ心ハ民之ヲ知ルト云フデアレバナラヌ、畢竟スルニ憲法其他ノ諸法令ヲ發布サル、所以ノモノハ蓋シ茲ニ基シテ居ルト思フデアアル、故ニ苟モ此立憲國民ヲ教育セシトスルナラバ、法治國民ヲ教育セシトスルナラバ、他ノコトハ姑ク措テ、少ナクモ此諸法令ヲ讀ミ、且解スルノ力ヲ與フベキデアラウト思フ、然ルニ諸君、今ノ國民教育用ニ用井テ居ラル、トコロノ文字ノ數ヲ以テ、能ク我國ノ諸法令ヲ讀ミ、且解スルコトガ出來マセウカ、私ハ想フニ、到底今ノ此漢字ノ數ヲ以テシテ今ノ諸法令ヲ讀ムト云フコトハ、寧ろ到底不可能ナリト斷ズルニ躊躇セヌデアアル、何トナレバ現ニ我國國民教育ノタメニ用井ラレテ居ルトコロノ文字ノ數ト云フモノハ僅ニ二千三百五十六十二過ギナイデアリマス、此二千三百五十六十二文字ヲ以テ我國國民ハ能ク我國ノ諸法令ヲ讀ミ、且解スルコトガ出來マセウカ、而シテ諸君、一方此國民ノ周知スベキ必要ナル諸法令ニ用ユル文字ハドモ無制限デアアル、一方ノ國民ニ教ユルトコロノ文字ハ制限サレテ居ルデアアル、一旦國民教育ヲ受ケタル國民デアリマシテモ、自分ガ是非トモ知リ得テ居ラナケレバナラヌトコロノ諸法令ニ對スルトキハ、讀ミ得ザル文字ノ數ガ多イデアリマスカラシテ、マルデ此諸法令ヲ見ルコト殆ド此猶ニ小判ト云フカ如キ有様ニナッテ居ルデアアル、其結果ハ諸君ドウナルカト申シマスニ云フト、言フマデモナク我國國民ニシテ一度兵隊トナッテ、而シテ軍隊ニ入りマシタトキハドウデアアルカ、恐

多クモ軍人ニ對スル即チ此勅諭文ト云フモノヲ讀ミ、且解スルコトガ出來ナイノデアアル、ソレカラ尙甚キニ至ッテハ、立憲國民トシテ立派ニ國民教育ヲ受ケタル、國民ガ此憲法發布ノ御勅語ヲ拜讀スルコトノ力ガ無イト云フノニ歸スルデアアル、從ッテ教育勅語ヲ讀ミ得ザルコトハ勿論デアアル、戊申ノ御詔勅ヲ拜讀シ得ザルコトハ勿論デアアル、尙甚キニ至ッテハ一旦有事ノトキニ至ッテ宣戰構和ノ御勅語ガ御發布ニナリマシテモ、吾々國民ハ到底之ヲ讀ムコトガ出來ナイト云フ結果ニナリマス、ソレカラ平時ニ在テハ諸君如何デアアルカト云フニ、此町村民トナッテハ町村制度ヲ讀ムコトガ出來ナイノデアアル、府縣民トナッテハ府縣制度ヲ讀ミ且解スルコトガ出來ナイノデアアル、國民トナッテハ憲法ヲ讀ミ且解スルコトガ出來ナイト云フ結果ニナリマス、然レドモ私ハ決シテ此諸法令ヲ黑人ノヤルガ如クニ法理的ニ解スルノ力ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ醜論ヲ爲スモノデアアリマセヌ、少ナクモ讀シテ字ノ如ク、即チ常識的ニ解スルマデノ文字ノ力ハ是非トモ國民ニ與ヘナケレバナラヌモノデアアルト思フデアリマス、ソレカラ又諸君實ニ嗤フベキハ國民教育ヲ受ケタル人ニシテ、誤ッテ刑法ニ觸レル場合、若クハ他ノ訴訟事ノトキニ際シテ、裁判官ノ判決書ヲ讀ムコトガ出來ヌデアリマス、裁判官ノ判決書ヲ解スルハ單リ其被告ニ附添ウテ居ルトコロノ辯護士ガ解スルノミデアッテ、而シテ被告自身ガ解スルコトガ出來ヌト云フコトハ、往々ニシテアルデアリマス、尙且我國ノ新聞論說ナルモノガ、斯様ナル教育ヲ受ケテ居ル國民ニ對シテハ、幸ニシテ「ルビ」ト云フモノガ付テ居リマスカラ宜ウゴザイマスケレドモ、一度我國ノ新聞社説ヨリ「ルビ」ナルモノヲ取テ去ッタル場合ニ於テハ、我國民ハ此社會ノ好機關タル新聞ヲ讀ミ且解スルコトモ出來ナイト云フデアリマス、ソレヨリモ尙且此不思議ナルコトハ、立憲國民トシテ此議會ヲ傍聽シテ、而シテ其議員ノ辯ズルトコロ、政府ノ説明スルトコロヲ能ク聞分ケルコトガ出來ルヤ否ヤト云フ點デアリマス、私ハ想フニ今ノ此國民教育ヲ受ケタル文字ノ力ノミデハ到底此議會ノ傍聽ヲシテ、而シテ其言フトコロガ明瞭ニナルト云フコトハ出來ナイト思フ、何トナレバ此當議會、第一議會ヨリ第二十五議會ニ至ル本會議立ニ委員會ノ速記用文字ノ數ヲ見マス、四千五百二字ヲ用テ居ル、故ニ此立憲國民トシテ議會ノ會議録ヲ讀ミ且傍聽シテ解スルト云フ以上ハ、少ナクモ此四千五百二字ハ解サナケレバナラヌ譯ニナルデアリマス、所ガ一方國民教育ニ用テ居ルトコロノ文字ハ此四分ノ一デアリマスカラシテ、會議録ヲ讀ンデモ、傍聽ヲシテモ四分ノ一外ニハ解スルコトガ出來ヌト云フ結果ニナルデアラウト思フ、況ヤ諸君、我國ノ文字ナルモノハ西洋諸國トハ違ヒマシテ、單リ其文字ノ形ヲ學ブノミナラズ、文字ヲ知ルト同時ニソレニ依ッテ此元氣ヲ養ヒ品位ヲ高メツ、アルトコロノ國柄ニナッテ居ルデアリマス、而シテ平生用ユルトコロノ言語ハ何デアアルカト云フト、多クハ此文章語ガ俗言ニ軟化サレテ居ルモノガ多イデアアル、若シ當局者ニシテ唯此千二百三百ノ文字ヲ機械的ニ無理ヤ々兒童ノ頭ニ詰込ミサヘスレバソレテ事足ルト云フナラバ、私ハ何モ言ヒマセヌ、然レドモ苟モ立憲國民トシテソレニ相當シタルトコロノ國民ヲ教育セント欲スレバ今ノ教育法竝ニ此文字ノ數ニ依ッテ求ムルコトハ百年河清ヲ俟ツト一般ノ比デアラウト私ハ信ジマス、要スルニ此國民教育ナルモノ、程度ハ次第々々ニ低クナッテ來マシテ、サウシテ今ヤ正ニ此低度ノ絶頂ニ達シテ居ラウト思フ、文部大臣果シテ如

(拍手起ル)

(政府委員岡田眞平君登壇)

○政府委員(岡田眞平君) 唯今ノ御質問ニ對シマシテ簡單ニ御答ヲ致シテ置キマス、唯今ノ御質問ハ小學校ヲ用ユル漢字制限ノ標準如何ト云フノガ第一デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、小學校ニ於テハ教則大綱ノ定ムルトコロニ依リマシテ日常須知ノ文字ヲ教ユルト御答ヲ申スヨリ外ナイノデアリマス、即チ成ルベク世間ニ廣ク用ヰラレテ居リマストコロノ語ヲ採リマシテ、其容易イモノヨリ教ヘテ漸ク其難キニ進シテ行クト云フ方針デアアルデアリマス、併ナガラ生徒ノ負擔力ト云フモノニ制限ガゴザイマスカラシテ、必要デアルト申シテモ、其文字ヲ悉ク網羅シテ小學校ヲ教ユルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、憲法時代トカ、或ハ專制時代トカ云フ御話ガゴザイマシタガ、成程今日ハ憲政ノ時代デアリマシテ、苟モ國民教育ヲ受ケタル者ガ總テノ法令ヲ了解シ得ルト云フコトハ無論希望ヲ致ス點デアリマス、願クハ憲法モ能ク了解スルガ宜シデアリマセウシ、其他ノ詔勅類ニ至マシテモ、殘ラズ能ク之ヲ了解スルコトガ出來マシタナラバ、誠ニ結構ナ喜ブベキコトデゴザイマスケレドモ、如何セン生徒ノ負擔力ニハ制限ガゴザイマスカラシテ、左様ナ無理ナコトヲスル譯ニハ參ラヌデアリマス(「學制ノ惡シキナリ」ト呼フ者アリ)算術モ教ヘナケレバナリマセヌシ、或ハ習字モ教ヘルト云フ必要ガアリ、或ハ歴史、地理、理科(「教方ガ惡ルイ」ト呼フ者アリ)種々様々ノモノニ付テ教授ヲ致サナケレバナリマセヌノデ、單ニ漢字ヲ教ヘルト云フ譯ニハ參ラヌデアリマス、併ナガラ出來得ベキ範圍ニ於テハ成ルベク多數ノ漢字モ教ヘタイト云フコトハ當局者ニ於キマシテモ御質問ト聊意見ハ違ハヌデアリマス、併シ唯今質問者ノ御述ベニナリマシタ通り、此議會ノ傍聽録ニ現ハレテ居ルトコロノ漢字ノ數ハ四千有餘デアリマス、此四千有餘ノ漢字ヲ義務教育ニ六年間ニ教ヘヤウト云フコトハ是ハ到底出來ベカラザルコトデアリマス、故ニ今日ニ於キマシテ義務教育ノ終ッタル者ガ、或ハ法令ヲ十分ニ了解シ得ヌト云フコトハ已ムヲ得ヌト申ス外ハアリマセヌ、併シ此懸隔ヲ如何ニシテ調和スルカ、此懸隔ヲ適度ニ調和スルノ要ヲ認メザルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、大ニ其必要ヲ認メテ居リマス、成ベク此法令ナドニ現ハレマス文字ハ教科書ノ中ニ編入スルト云フコトヲ意ツテ居リマセヌ、而シテ段々ニ此教育ヲ進ムニ從ヒマシテ、或ハ教員ノ力ヲ進歩スルニ從ヒマシテ、其懸隔ヲ減少スルト云フ方ニハ常ニ進ミツ、アルデアリマス、現在ニ用ヰテアリマストコロノ教科用圖書ト、今年ノ四月カラ採用致サントスル新ナル教科用圖書トヲ比較致シテ見マス、餘程漢字ノ數ナドハ増加致シテ居リマス、故ニ現在ノ小學ノ義務教育ヲ受ケタモノ

ヨリ、將來義務教育ヲ受ケタ者ハ、法令ヲ解釋スル力ニ於テ幾分カノ進歩ヲ確ニ認ムル譯デアラウト思ヒマス、若モ幸ヒニシテ事情ガ許シマシテ、或ハ更ニ義務教育ノ延長ヲスル、或ハ又教員ノ改良ト云フモノガ益ヲ進メテ參リマシタナラバ、追々此懸隔ノ調和ガ宜シキヲ得テ參ルト云フコトニハナラウト思ヒマス、テ現在ニ於テハ現在ノ學生、生徒ノ負擔力、教員ノ教授力ト云フモノヲ眼中ニ置キマシテ、實行致シテ居ル次第デアリマス

○澤來太郎君 唯今ノ御答辯ニ依リマスルト、御勅語ヲ讀ムコトガ出來ナクテモ、諸法令ヲ讀ムコトガ出來ナクテモ、ソレハ已ムヲ得ヌト云フヤウニ聽取リマシタガ、已ムヲ得ヌトシテ政府ノ職責ヲ全ウスルト云フ御考ガアリマセウカ、チヨットソレヲ伺フ置キタイ

(政府委員岡田良平君登壇)

○政府委員(岡田良平君) 御答致シマスルガ、已ムヲ得ヌコトハ即チ已ムヲ得ヌノデ、致方ガナイノデス

○副議長(肥塚龍君) 諸君ニ御諮ヲ致シマス、決算委員ノ第二分科主査高木益太郎君ヨリ、本會開會中ニ委員會ヲ開キタイト云フ 請求ガゴザイマスガ、許シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) ソレデハ許スコトニ致シマス、次ハ内藤魯一君

(内藤魯一君登壇)

○内藤魯一君 諸君、暫ク御辛抱ヲ願ヒマス、大抵二三十分デ終リマスル積リデアリマス、諸君、本員ハ政治上總テノ問題ニ對シマシテハ、政治的我奉ズル主義ヲ以テ是ガ所見ヲ極メルデアリマスルカラ、先ヅ我質問ノ要旨ヲ明カニ致シ、以テ政府ニ尋ネ、之ヲ聽イテ然レ後ニ政府ノ提案ニ係ル關稅定率法改正定率法ニ對シ我態度ヲ定メルノデゴザイマス、故ニ先ヅ其質問ノ前提トシテ茲ニ一言ヲ要ト致シマス、夫レ政治上ノ主義ヨリ觀テ、善政トハ天下多數ノ人ノ喜ブベキ政治ノヤリ方デアッテ、惡政トハ天下多數ノ人ノ喜バザル遣リ方ヲ申スデアリマスガ、本員ノ政治主義ハ勿論天下多數ノ人ノ喜ブベキ前段ノ善政主義デゴザイマス、之ヲ以テ本員ハ立憲政友會ニ屬シテ一兵卒トナッテ居ルノデゴザイマスガ、本員ノ惡政主義ト申スハ政治上ニ於ケル無主義ヲ意味セシ言葉デゴザイマス、政友會ノ善政主義デアリマスコトハ歴々證據ガ立チマシテゴザイマス、是ガ適證ヲ舉ゲマスレバ、前閣ノ當年國歩艱難ノ大難局ニ立ッテ彼ノ鐵道國有ヲ斷行シ、是ノミナラズ、天下ノ重稅ト目視セラル、田畑地租ニ加フルニ更ニ之ニ大ナル重稅ヲ課シ、新稅ヲ起シ、所謂非常特別稅ナルモノヲ勇斷シ、以テ日露戰役ノ大經營ニ任ズ、以テ上ハ 陛下ノ志ヲ爲サシメ奉リ、帝國ヲ泰山ノ安ニ置キ、國運隆々今日ヲ致セルモノ、抑、是レ政友會ニ千古不磨ノ主義ガアルカラコトデゴザイマス(拍手スル者アリ)「ノウ」ト呼フ者アリ若モ政友會ニシテ當年政治的無主義者流デアリマシタラ今日ノ如ク此會ハ隆昌ナラズシテ、世ノ學者一流ノ空論ニコミヤラレテ、天下ニ其國體ノ大ナルダメージ、大ナル大面目ガ遺サレテアッタト思ヒマス、是ハ當リ前ノ觀察デアッテ、支那ノ昔ノ政治家デサヘ、伏羲神農ノ時分カラ、成湯文武成王ノ世ニ至ルマデ、皆此

主義ガ國政ヲ按排シ、問題ヲ料理シタノデ、共ニ皆天下ニ聖ヲ呼バレタノデゴザイマス、ソレヨリ降ッテ孟子ト云フ先生ハ斯ウ申シテ居リマス、民事ハ緩クスベカラズ、人皆人ニ忍ビザルノ心アリ、人ニ忍ビザルノ心ヲ以テ人ニ忍ビザルノ政ヲ行フ、天下ヲ治ムルコト之ヲ掌ヲ運スガ如シ、ト斯ウ云ウテ居リマス、諸君ドウデスカ、是ハ本當ナコトデゴザイマス、諸君、我前閣ハ當年天下ノ驚クベキ、天下ノ憎ムベキ、惡ノ惡ナル非常特別稅ナル大惡稅ヲ課シマシテモ、本國民ヲシテ天下各地ニ當年惡政ヲ起サシメザリシ所以ノモノハ、前内閣ニハ所謂人ニ忍ブベカラザルノ同情ガアッタカラデゴザイマス(「ノウ」ト呼フ者アリ)ソコデ其同情ハ地方ノ關稅率ニ於テ、爲ニ一道ノ活路ガ與ヘテゴザイマス、サリナガラ諸君ノ中ニハ鹽專賣ガ惡利トカ、通行稅ガ宜クナイトカ、大分ニ議會ニハ承リマシタガ、其聲ノ議場ニ高キ割合ニ地方ニハサマデ響イテ居リマセヌ、併ナガラ織物稅ニ至リマシテハ今日如何ニモ氣ノ毒ナトコロガ見エテ居リマスガ、由來善政ハ人ニ依ッテ起ルノガ原則デアリマスカラ、是モ早晚政友會内閣ヲ迎フルノ時機ガ來リマスレバ、ナアニコナコトハ(笑聲起ル)諸君、輸入米關稅率ニ關スル問題ノ如キ難問題ヲシテ、事實ノ上ニ是ガ決行ヲ見マスルニハ、天下政友會ノ獨特ニ在ルモノト存ジテ居リマス、是ガサ、世ノ所謂不言實行、若クハ八方美人の主義ノ政府トセバ理ニ於テ是レ物質的本位ノ内閣ト謂ハザルヲ得ナイ譯デゴザイマス、若夫レ此ノ如キ政府ガ其憲政ノ上ニアリトセバ、主義ニモガ生ヘ、肉ニ臭氣ガ付テ居マスカラ、其内政ハ必ズ鼻持ノナラヌ自己流ニシテ、此流ノ外交ニハ常ニ方ナシデアリマスカラ、關稅率米問題ノ如キハ各自銘々我田引水ノ主張ガ多ク、イヤ、ドウシテ斯ル問題ノ其容易ニ決シ得ラルベキ道理ガナイノデゴザイマス、故ニ世界立憲國ノ國民トシテ、斯ル無主義者流内閣ノ下ニ立タシメラル、程是程厄介ナ且迷惑ナ、且恐ルベキケンシナ怖イオカナイアナイコトハナイノデゴザイマス、又天下ニ是ヨリ非立憲ナホコトモナイノデゴザイマス、如何トナレバ民心ハ利ニ集リテ親ミ、之ニ離レテ背クノハ今古モ歴史ノ證明スルトコロトナッテ居リマス、遠イノ目色ノ變々國マデモ是等ノ人情ハヤリ別ニ變リガナイソウニゴザイマス、諸君、是レ此國民ガ集ッテ親ムトキハ是レ國家繁榮ノ兆ニシテ、是ニ反シ散ジテ離ル、トキハ是レ不祥ヲ爲セル亡國ノ原因ヲ作スモノデアリマスカラ、世ノ爲政家タルモノ深ク此點ニハ留意ヲ要スベキコト、存シマス、本員ハ今茲ニ正式ナ表ハ持チマセヌガ、チヨット考ヘテモ米價下落ノタメニ昨年ニ於ケル農民ノ受ケタル損失ハ少ナクモ是レ一億萬圓ヨリ以上ノ數字デアラウト思ヒマス、之ニ米價下落ノ影響ニ打タレテ、是ガ商品等ニ及ボセシ物價下落ノ狀況ハ、之ヲ大阪毎日ノ記スルトコロニ據リマスレバ、昨年來平均一割七八歩、物品ニ依リテハ三割以上ニ及ンデ居ルト申シテ居リマス、是等ヲ細カニ、計上セバ此數字ハ更ニノ驚クベキ大數字デアリマセウ、是ニ由ッテ之ヲ觀マスレバ獨リ農ト云ハズ、工タリ商タル者又同情一滴ノ涙ガゴザイマス、諸君、今日ノ我が農民ヲシテ其地租ヲ納ムルニ是ガ餘地ナカラシムルマデニ至ラシメタルモノハ抑、是レ天カ將タ人カ、本員ハ之ヲ現閣政治上ニ爲セシ大不注意ノ責歸セザルベカラズト斷言致シマス、如何トナレバ農民ガ田畑ニ受ケシ非常特別稅ハ輸入米關稅率ノ此法律ノ改正法ニ於テ、別ニ此重稅タケハ政府ニ納付シ得ラルベキ程度ニ内國米ノ價格ヲ保タシ得ベキ精神ニヨリ、

當年是ガ改正ヲナセシモノデゴザイマス、故ニ是等非常特別稅ノ免除セラレザル限リハ、政府ハ責任ヲ以テ常ニ我產米ノ程度ニ見テ其能ク關稅率ニ加減ヲナシ、按排ヲナシ、料理ヲササルヲ得ザルモノデゴザイマス、況ヤ我國ノ關稅定率ハ由來農本位ナル建國主義ヨリ生テ來タノデゴザイマス、故ニ此定率ハ自己本位ナル無主義者、即チ亡國主義者ニハ不同意ナ答アル、彼ノ朝鮮ニ起ル殖産會社ノ經營者ナドニハ確ニ不同意デアルト云フ推測ガ出來マス、ソコデ此關稅率ヲ現狀ノ儘ニ爲シ置キ、之ヲ年ノ自然ニ任センカ、昨年ノ如キ米作ニシテ是ガ年々其豐ヲ重ヌルニ至アラバ、農民ハ此米ノ始末ニ窮シテ更ニ極端ナル悲境ニ陷ルノデアリマス、而モ現內閣觀テ之ヲ顧ミズンバ是レハ忍ブベカラザルヲ忍ブモノニシテ、是ハ不仁デアリマス、是ハ不義デアリマス、而モ尙現內閣諸公ハ上ニ陛下ニ對シ奉リ、下我國國民ニ臨マントスル御心底デアリマスルカ、現內閣諸公ハドウデアリマス、現內閣ハ公債ノ政略トカ、方角トカ、密策トカ、此方ニハ大分ニ御熱心ノヤウニ見エマスルヤウナガ、帝國ノ生命タル農民ノ悲境ニ陷ルニ對シテハ、知ラヌ顔ノ半兵衛サンヲキメコソデ(笑聲起ル)馬耳東風ニ開流シ更ニ、一滴、半滴ノ同情ノナキニ至ラセラル、ニ及ビマシテハ、農民ハ怨ミマス、何トナラバ農民ノ田畑ニ非常特別稅ヲ課セシトキ、其時ノ當年ノ精神ヲ無意味ニ滅却シ忘却セントスルノデアリマスカラ、ヒドイ、殘酷ナ此內情ハ、政法學者ナドニハ殊更ニ開イテ置イテ實ヒタイト思ヒマス、取分ケ新博士ノ花井代議士ニハ尙更デアリマス、諸君ヒドイデアハリマセヌカ、今ノ陛下ノ內閣中斯ナヒドイ目ニ會ハセタ無主義ナ內閣ハアリマセヌ、(何ゼ妥協シマシタ)ト呼フ者アリ、農民ハ我神代ノ昔ヨリ、殊ニ神武大帝ヨリ今ノ陛下ノ明治ノ御世ニ至リマスルマデ、我帝國ノ生命タル御百姓様デゴザイマス、而モ此御百姓(笑聲起ル)尙此上ニ大ナル苦痛ニ遭ハントスルノ餘所目ニ見テ居ルノデゴザイマス、若夫レ陛下ノ政府ノ內閣員トシテ、他日此民ノ大怨聲ヲ二重橋邊ニ聞給ハセ玉フトキニナツテ來タナラバ、諸公ハ是レ我農本位ナル建國主義ヲ根柢カラ破滅スル分子ノ亡國主義者トナルノデゴザイマセウ、此時此場合ニ及ンデカラ、諸公ハイヤサウデナイ、苟モ輔弼ノ任ニ當リ現閣ガ無主義デ政治ノ出來ヤウ譯ガナイトカ、又ハ亡國主義デ御親任ヲ受クベキ道理ガナイトカ、何トカカントカ仰シヤイマシテモ、政治上ノニハ主義ガゴザイマス、唯言葉ノ上ノ申譯デハ立チマセヌ、我瑞穂ノ國ニハ神武建國ノ以來カラハ、八雲神詠ノ三十一字ニ於テ、既ニ業ニ其主義ガ明カニ示サレテアリマスカラ、人焉ゾ度サシヤアリマシテ、其人ノ建國主義カ亡國主義カハ忽チニシテ化ノ皮ハ現ハシテ來マス、其本性ハ明カニ明白ニナリマス、況ヤ此本員ノ眼ノ球ノ黒イ中ニハ八雲流ノ神鏡ガ留メラレテアルノデゴザイマス、諸君、質問ノ前提ハ先ツ此邊ニ止メテ(笑聲起ル)是ヨリ本質問ニ入リマス(當年ノ勇氣ヲ發揮シ給ヘ)ト呼フ者アリ、諸君、我國ノ如キ國柄ニアリマシテハ、自國ノ生存ニ大ナル影響ヲ及ボスベキ米價ノ如キハ、國是トシテ之ニ適好ナル價格ヲ保タシムベキ法案ヲ確定シ置カネバナリマセヌ、是レ本員ハ此質問ヲ要スル所以ノ大眼目デゴザイマス、支那ニテハ今ヲ去ル千九百六十四年ノ昔、漢ノ宣帝ノ五鳳四年、即チ我朝崇神天皇ノ四十四年、丞相黃霸ノ獻策ニ依リ始メテ之ヲ實行セリ、而シテ其法タル、米價廉キニ過グレバ官之ヲ糴賣シ、以テ價格ヲ騰貴セ

シメ、米ノ生産者タル農民ヲ利シ、米價高キニ過グレバ官之ヲ糴賣シテ是ガ價格ヲ下落セシメ、以テ米ノ消費者タル天下一般ノ人民ヲ益セリ、夫レ此法ハ概シテ好良ノ結果ヲ生ジ、經濟界ニ多大ノ裨益ヲ與ヘマシタノデ、爾後ノ爲政家亦此法ニ倣ヒ、我國ニ於テモ紀元千四百二十年、淳仁天皇ノ天平實字四年、常平倉ヲ置カセ給ヒシヲ始メトシテ、爾後諸國ノ守護、地頭ノ、侯伯又是等ノ方法ニ依リマシタ、諸君、米價ノ下落ハ其原因種々アルベシト雖モ、外國米輸入ガ主ナル原因トナツテ居リマス、勿論昨年ニ於ケル我米作ノ豐穰ニモ依ルベキコト、ハ思ヒマスルガ、元來今年ニ於テ斯ク米價下落ノ不景氣ニ遭遇セザリシナラバ、我農民ノ如キハ久振リノ大豐作ニ悅ンデ、非常特別稅ニ苦惱シ、アル此苦痛ヲモ打忘レテ、今年ノ氏神祭ニハ様々ノ手踊、狂言事ガ仕組マレテ、老若モ共ニ我ヲ忘レテ一日ノ大歡樂ヲ取ツデアラウト存ジマス、焉ゾ圖ラヌ此大豐作ガ却テ仇トナリマシテ、一般農民社會ニ大煩惱ノ種子トナツタデゴザイマス、言ヒ換フレバ、農民ハ此米價下落ノ下ニ呻吟シテ口、管前途ヲ悲觀スルコトニナツテ來タノデアリマス、如何トナレバ今日ノ如ク下落シタル米價ガ相當ノ價格ニ挽回セラレザレバ地租ニ充ツベキ出所ナク、此ノ如クシテ米價下落ノ下ニ此財界ノ不景氣ガ打續キマスレバ、其打續キマスルゲケソレダケ世上ノ人ハ外國米ヲ食セザルヲ得ナイヤウニナツテ來ルノデゴザイマス、故ニ今日デハ自己ガ產米ヲ有セル農民デサヘ、其產米ヲ賣惜ミマシテ、而モ外國米ヲ食スルコトニナツテ來タノデゴザイマス、東京神田方面ニ於ケル小賣店ノ米相場ニ依ツテ見マスレバ、外國米ハ內國米ニ比シテ一圓ニ付キ其間二升ノ廉直ニナツテ居リマス、此二升廉直ハ世ノ生活難ニ苦シンデ居リマスル人ノ眼ヨリハ此二升廉直ハ忘ルベカラザルモノデアリマス、而シテ前ノ農民ガ賣惜ミツ、アル產米ノ相場ガ下落シタノデ、現下ニ於ケル農界ノ一般ハ皆悉ク途方ニ暮レテ、何等策ノ出ヅルトコロヲ知ラント云フ有様デゴザイマス、然レドモ昨冬以來天下各地ニ地租輕減ノ聲ガ起リマシタニ氣ヲ持チテ、聊心ヲ慰サメテ居リマシタガ、地租ノ一歩減、二步減ニテハ永ク救済シ得ルコトハ出來得ナイノデゴザイマス、何トナレバ我內國米ハ現行關稅率ノ下ニアリマシテハ、輸入米ニ壓倒サレテ元ノ相場ニ立戻ルコトハ到底理ニ於テハ出來得ナイコトニナツテ居リマス、併ナガラ我國ニ大凶作ガアリマスカ、又ハ外國ニ大凶作ガアリマスレバ、是ハ別段ノコトデゴザイマス、諸君、我國ニ於ケル米作ノ豐穰ハ古來上下一般ニ祈ルコトコトナツテ來テ居リマス、殊ニ農商務省ヲ置カレテ以來、農科大學ヲ設ケラレシ以來、府縣ニ農事試驗場ヲ置カレシ以來、又各地ニ農學校ヲ置カレシ以來、中央農會ニ、府縣農會ニ、郡農會ニ、町村農會ニ、其各適好ノ機關ガ設備セラレタノデ、農事改良進步ノ恰モ、駿馬ノ驅ケルガ如キ勢ヲ以テ發展シ來ツテ居ルノデゴザイマス、是ガタメニ我米作ニ增收ヲ得ルノ數字ハ年月ノ新タナル毎ニ各地著シキ好成績ヲ擧ゲルヤウニナツテ來タノデゴザイマス、然レニ今日農業界ニ於ケル現狀ニ見マスレバ、我國上下一般ニ悅ブベキ米作ノ豐穰ハ却テ米價下落ノ主因トナリ、其豐作ノタメニ此米ノ始末ニ窮シ、爲ニ斯界ノ前途ヲ悲觀セザルヲ得ザルノ不幸ニ陷ツタノデアリマスガ、斯界ヲシテ此ノ如キ窮地ニ陷レタルモノハ抑、是レ天下何物ノ罪ニ歸セシムベキカ、本員ノ考ニ依レバ政府者ハ勿論、吾ハ帝國議會ノ員ニ備ハレル者ノ責任ニ歸セナケレバナラヌト存ジマス、諸君、夫レ此ノ如

キ現象アリマシテハ、此後ハ此產米ノ相當價格ヲ保チ得ラル、ダケノ方法ガ國家策ト
シテ設ケテナケレバ、斯界ノ前途ハ夫レ何人ガ見テモ樂觀シ得ルコトノ出來得ラレナイ不
備ノ國家ト謂ハナケレバナリマスマイ、更ニ質問ノ論旨ヲ結ビマス、本員ノ意見ニ依レバ
米價ノ暴落ヲ防止スルニハ輸入米關稅率ノ改正ヲシテ、一層重稅ヲ課スルヲ必要ト致
シマス、知ラズ政府者ハ之ニ同意ナルヤ、是レ其一ナリ、政府者若シ之ニ同意ヲ躊躇セ
バ、其責任トシテ他ニ相當ノ永久の救済方法ヲ案出シ、之ヲ以テ帝國議會ニ臨マザル
ベカラズ、知ラズ政府者ハ之ニ對シ相當ノ準備アリヤ、抑、又政府者ノ主義ハ米價暴落
ノ如キハ總之ヲ自然ノ成行ニ任セシメスルノ方針ナリヤ、右質問ニ對シ一々明瞭ノ答
辯ヲ望ミマス

(政府委員押川則吉君登壇)

○政府委員(押川則吉君) 只今ノ内藤君ノ御質問ニ御答致シマス、政府ハ獨リ農
ヲ重シズルノミナラズ、商工亦重シト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ各業ノ利害ヲ考ヘテ
一般ノ經濟ニ鑑ミテ、現ニ關稅定率法ハ議會ニ提出シテアルノデアリマシテ、現行ノ
定率ノ通りヲ以テ最モ經濟上ニ適當ナコト、考ヘテ居リマス、故ニ之ヲ殊ニ増加スル
ト云フ必要ヲ認メテ居リマセヌ、況ヤ今日ノ米價ノ下落ハ一ニ輸入米ノタメニ下落シテ
居ルト云フコトハ、認メヌノデアリマス、明治四十二年ノ輸入額ハ前年ヨリモ大
ニ減ツテ居ルノニ下落シテ居ルノデアリマス、此輸入米ノタメニ米價ガ下ツテ居ル
ト云フコトハ、信シマセヌ、第二ニハ關稅定率ヲ高クスルト云フコトガ非ナリトセバ、他ニ
相當ノ方法ヲ考ヘベキデアルト云フコトデアリマス、本日ノ米價ハ需用供給ノ關係
ヨリシテ此ノ如キ有様ニナツテ居ルノデアリマシテ、之ニ向テ殊更ニ人爲ヲ以テ此米價ヲ
左右スルト云フノ考ハ有シマセヌ、第三ニ御問ハ今申上ゲタノテ盡シテ居ルト考ヘマス
○副議長(肥塚龍君) 此際諸君ニ御諮ヲ致シマス、續業法中改正法律案委員
會ヲ第四委員室ニ於テ開キタイト云フコトヲ、委員長遠藤吉平君カラシテ請求ガゴザイ
マスルガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) ソレデハ許可スルコトニ致シマス、其次ニハ農會法中改正法
律案委員會ヲ第八委員室ニ於テ開キタイト云フコトヲ、委員長恆松隆慶君ヨリ請求ガ
アリマスルガ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) ソレデハ許可スルコトニ致シマス、其次ニハ豫算第八分科主
査大岡有造君カラシテ、第六分科會ヲ開キタイト云フ 請求ガゴザイマス、是モ許シテ御
異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ是モ許可致シマス——次ハ武田貞之助君

(武田貞之助君登壇)

○武田貞之助君 諸君、本員ハ海事政策、殊ニ其航業上ニ於ケル監督並ニ成績ニ

關スル質問書ヲ提出シテ次第デアリマス、暫ク此貴重ナル演壇ト時間ヲ拜借致シマス、
其第一ハ——本員ノ質問セントスル第一ハ、現時多數ノ被保護會社ニ對シマシテ現
政府ハ其監督權ヲ最モ適當ニ最モ嚴格ニ行使シアルヤ否ヤト云フ點デアリマス、第二ハ
現時非常ニ高度ノ——多大ノ保護金ニ對シマシテ被保護會社ハ著々國家國民ニ實
益ヲ擧ゲツ、アリト認ムルヤ否ヤト云フ點デアリマス、第三ハ現ニ政府ガ各被保護會
社ニ與ヘ來リタリシコロノ金額ハ、其配當金額ト最モ均衡ヲ得、公平ヲ得テアツテ最モ配
案其宜シキヲ得テ居ルト見得ルヤ否ヤ、又政府ハ將來最モ適切ニ之ヲ改善スルノ意見
アリヤ否ヤト云フ點デアリマス、諸君、諸君モ御承知ノ如ク、彼ノ東洋汽船會社ハ如何
ナル狀態デアリマセウカ、缺損ニ次グニ缺損ヲ以テ致シマシテ、去ル四十一年度ニモ巨額
ノ缺損ヲ出タシ、昨年ノ上半期ニ於キマシテモ突如トシテ八十餘萬圓ノ缺損ヲ出シタノ
アリマス、又近ク昨午ノ下半期ニ對シマシテコロノ計算ニ對シテモ、正ニ數十萬圓ノ損
失ヲ見ルデアラウト云フコトハ相當正確ナル新聞紙等ノ報道スルトコロデアリマス、諸君、
諸君ト共ニ昨年委員會ニ於キマシテ遠洋航路補助法案ヲ議シマス際ニ、政府ハ吾能ク
營業ノ狀態ヲ調査シタリ、吾能ク其實績ヲ知レリト云フ譯デアリマシテ、意味ニ於キマ
シテ飯田議員カラ要求致シマシテ、各會社ノ營業成績ヲ吾ニ參考トシテ與ヘタノデア
リマス、資助トシテ與ヘタノデアリマス、吾ニハ夫等ノ狀態ニ向ツテ——狀態ヲ幾分資
助ト致シマシテ、サウシテ遠洋航路補助法案ヲ議シタノデアリマス、同會社ハ巧妙ニ
モ否ナ狡猾ニモ、吾ニガ同會社ノタメニハ最モ有利有益ナル遠洋航路補助法案ヲ可決シ
通過スルヤ否ヤ、計算ヲ誤レリ計算上粗漏アリト云フ名義ノ下ニ、突如トシテ八十餘
萬圓ノ缺損ヲ出シタノデアリマス、是ガ八萬圓又ハ十萬圓位ノ缺損ナレバ何カ曰ハン
デアリマス、突如トシテ有利有益ナル補助法案ヲ決定セシメテ、然ル後ニ突如
トシテ八十餘萬圓ノ大ナル缺損ヲ出サシメタト云フニ至ツテハ、甚ダ不當不埒至極ト云
ハナクチャナラヌノデアリマス、而モ尙引續キ缺損ヲ爲スト云フニ至ツテハ、同會社ニ向ツ
テハ監督官廳タル當局者ハ如何ナル訓誡ヲ與ヘ、如何ナル指導ヲ與ヘ、又如何ニ監督
ヲ爲シツ、アルノデアリマセウカ、加之ナリマセズ、彼又長江航路ニ於キマス、即チ清國
ニ於キマス揚子江航路ニ於テハ如何ナル狀態デアリマセウ、諸君曾テ當議會ニ對シマ
シテ日清汽船會社ニ於キマシテハ、吾々ハ一十萬圓ノ會社ヲ作ルノデアアル、是故ニ年々
八朱即チ八十萬圓ヲ補助致スベシ、致シテ吳レト云フコトヲ議會ニ向ツテ請求ヲ致シ
マシタノデアリマス、議會ハ實際一十萬圓ノ會社ヲ組織スルモノ、實質上一十萬圓ノ
會社ヲ組織スルモノト看做シテ、サウシテ八十萬圓ノ補助ヲ決シタノデアリマス、然ルニ
突如トシテ後ニ其會社ハ資本金ヲ八百十萬圓ノ少ナキニ減シテシマッタノデアリマス、是
故ニ同會社ニ對シテハ實際上資本金ノ一割保護シツ、アル狀態ニナツテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ同會社ニ於キマシテハ、又同航路ニ於キマシテハ、今日何等實績ノ見ルベキ
モノナク、缺損ニ缺損ノ狀態デアリマス、偶ニアルトキニハ二分乃至三分ノ配當
ヲ致シツ、アリマスルケレドモ、社務紊亂ヲ致シテ營業成績ノ舉ラザルコトハ株券
市場、株式市場ノ之ヲ證明シテ餘リアルトコロデアリマス、同會社等ニ對シテモ政
府ハ如何ナル方法ヲ執リ、如何ナル手段ヲ執ツテ、如何ニ指導シ、如何ニ之ヲ監督

シツ、アルノデアリマセウカ、諸君、總テ政府ノ監督權ノ微弱ナルコトハ單リ特殊ノ航業會社、即チ海運會社ノミデハアリマセウ、近頃農商務省ニ於キマシテハ彼ノ保險課等ニ於キマシテ、多少注意ヲ拂ッテ居リマスレドモ、彼ノ曾テ保險事務官ガ被監督會社ノ役員ト、暮夜某旗亭ニ妓ヲ擁シテ遊ビツ、アリマス、夜陰會社ノ者共ト花ヲ玩ビツ、アルト云フヤウナ狀態デアリマス、左様ナ狀態デアリマシテドウシテ嚴格ナルドウシテ嚴密ナル監督ガ出來ルデアリマセウカ、私不肖本員ニ於キマシテハ昨今監督權ノ微弱ヨリモ寧ロ監督權ナシト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイデアリマス、否ナ監督權ナシト云フコトヲ斷言シテ憚ラナイデアリマス、而シテ監督ヲ致シマスモノニ於キマシテハ、以心傳心ノ間ニ各般ノ利益、各般ノ便益ヲ與ヘマシテ、サウシテ他日自己ノ身ヲ賣ルコトコロノ素地素養ヲ成シツ、アルヤウナ弊害ガ間キアルコトハ諸君ト共ニ窺知ルトコロデアリマス、之ヲ要スルニ多大ナル航路ノ保護ヲ向ケツ、アル會社ニ向ッテ——對シテハ大ニ監督ヲ致シ、大ニ監督權ヲ厲行シテ、依ッテ以テ國家國民ニ満足ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトハ政府ニ責任ガアリマス、然ルニ此監督權ニ於テ大ニ不満足ヲ懷キ不愉快ヲ抱クガ故ニ、明カニ如何ナル方法ヲ以テ、如何ナル手段ヲ以テ監督ヲ爲シツ、アルカト云フコトヲ答辯セラレンコトヲ望ム次第デアリマス、第二、諸君、我邦ノ航路保護金額ハ非常ニ高度ノ金高デアアルデアリマス、之ヲ獨逸ノ保護率ニ比較致シマスト云フト、其噸數ノ上カラ割出シマスト云フト四五倍ノ多キニアルデアリマス、又諸君、近時亞米利加ニ於キマシテ彼ノ有名ナル議員「ハーウエー」氏ナル人が航海獎勵補助法案ヲ提出シタ譯デアリマスルガ、案ハ委員會ニ於キマシテ七ニ對スル十一ヲ以テ多數ヲ通過致シマシタコトハ諸君ノ御承知ノトコロデアリマス、併ナガラ此新法案ガ通過致シマシタ、トコロガ我邦ノ保護程度——保護金額ハドウデアリマセウ、案ヨリハ尙ニ倍大ノ多キニアルデアリマス、而シテ是ハ諸君ノ御承知ノ如ク、我郵船會社ニ於キマシテハ年々一割二分ノ配當ヲ繼續シツ、アルノミナラズ、過ギシ明治二十九年三月土佐丸ノ歐羅巴航海ヲ始メト致シマシテ、爾後十數年間ノ久シキ非常ナル多額ノ保護ヲ受ケツ、アルデアリマス、而シテ諸君モ御承知ノ如ク其資本金ニ對シテハ常ニ二割三分前後ノ多クノ保護ヲ受ケツ、アルデアリマス、非常ナル多額、非常ナル高度ノ恩典ヲ受ケツ、アルデアリマス、然ルニ同會社ハ彼ノ歐羅巴航路其他ニ對シマシテ、此國民ノタメ、我邦ノ輸出商品ノタメニ如何ナル割引ヲ爲シツ、アリマセウカ、如何ナル直接ノ利益ヲ與ヘツ、アリマスカ、又諸君、外國ノ被保護會社ニ於キマシテハ非常ニ其保護セラル、金額ノ少ナキニモ拘ラズ、澤山ナル義務條件ヲ負擔致シテ居ルデアリマス、即チ其政府ノ陸海軍ノ用品ニ向ッテハ無代價、若クハ非常ナル少ナキ運賃ヲ以テ運送スルコトカ、其他自國ノ商業、自國ノ生産物ノ發展ヲ害スルコトヲ云フヤウナ商品ハ搭載致サナイコトカ、其他諸カザル義務條件ヲ背負ヒ込シテ居ルデアリマス、然ルニ我郵船會社ハ多額ノ高度ノ保護ヲ受ケツ、アリマスルガ、又引續キ取來ッテ居リマスルガ、如何ナル方法ニ依リ、如何ナル事實ニ依ッテ我國家國民ニ直接ノ利益ヲ與ヘテ居ルデアリマセウカ、然ノミナリマセズ、轉ジテ彼ノ東洋汽船會社等ニ於キマシテハ、同會社ハ現時ノ豫算ニ計上サレタ金額ニ依リマシテ、一日ニ毎日七千圓宛ノ多キ金額ノ補助ヲ受ケツ、アルデアリマス、ソレニ對シマシテ南

米航路ニ僅ノ移住民若クハ出稼人ノ割引ハ致シテ居リマスレドモ、其他ニ——其外ニ於キマシテ如何ナル利益、如何ナル實益ヲ我商人、我國家、若クハ我經濟ニ如何ナル實際上ノ利益ヲ與ヘツ、アルデアリマセウカ、加之彼ノ郵船會社ニ於キマシテハ、六千噸大ノ鎌倉丸ヲ、我内地ノ我領土内ノ臺灣ノ中ノ小航路ヘ回シ來ッテ、サウシテ自己ヨリハ小ナルコロノ商船會社ノ船ニ對シマシテ、所謂蝸牛角上ノ爭ヲ爲シツ、アリマシテ、他ニ大ナル發展、他ニ大ナル飛躍ヲ試ミテ居ルト云フコトハ少シモ認メナイデアリマス、又見ナイデアリマス、政府ハ百尺竿頭是ヨリ一步ヲ進メシメテ、何ガ故ニ北獨逸「ロイド」會社ノ其他ノ外國船ト相競争セシメテ、速力ヲ速ニシ噸數ヲ大キクシテ、サウシテ外國ノ貨物、外國ノ旅客、外國ノ貨錢ヲ吸收シ、大ニ外國ト競争ヲナスコトヲ大飛躍ヲ試ミシメヌデアリマセウカ、政府ハ現時高キ高度ノ保護ヲ與ヘツ、アルニモ拘ハラズ、何等之ヲ指導シ、何等之ニ向ッテ實績ヲ舉ゲシメテ居ラナイデアリマスカ、政府ハ如何ナル所感ヲ持ッテ居リマスカ、吾々國民ノ代表者トシテ極メテ不愉快ニ、極メテ不満足ニ堪エナイ次第デアリマス、第三諸君、本年ノ豫算ヲ熟ク取調致シマスト云フト、我政府ガ被保護會社ニ與ヘタ金額ハ最高度デアリマス、遠洋航路補助法案ノ第四條ニ據リマス、所謂五十錢ノ最高度ノ金額デアリマス、諸君、郵船會社ニ於キマシテ八十數年ノ間厚キ保護ヲ受來ッテ居ルデアリマセウカ、而シテ十分信用ガアリ、其他運送上ニ關シテ總テ設備ガ出來テ居ルデアリマセウカ、之ニ反シテ新規ノ北米「タコマ」線ニ於キマシテハ、彼ノ郵船會社「タコマ」線ニ於キマシテハ、眞ニ今度ガ初メテ開始シタ航路デアリマセウカ、先キニ云フ如ク十數年間ノ久シキ、多大ノ保護ニ浴シテ、最モ有利ナル線路ト、突如トシテ俄ニ新線路ヲ開始シタモノト同一ノ保護率ト云フコトハ如何ナル理由デアリマセウ、而シ諸君、昨年遠洋航路補助法案ヲ攻究致シマストキニ、吾々ハ最高度ナル金額ヲ必要トシテ、常ニ最高度ナル金額ヲドノ航路ニモ與ヘルト云フ趣意デハナカッタデアリマス、即チ此遠洋航路補助法案ノ第四條ニ於キマシテ、五十錢以內、五十錢以內ナル文字ニ向ッテ大ニ注意ヲ拂ッテ居リマス、實ニ吾々ガ注意ヲ拂ッテ居ラズ、當時ノ政府者ハ此ノ如キ以內ナル文字ガアルガ故ニ、曩ノ航海補助法律案トハ餘程其趣意ガ違ッテ、大ニ斟酌取捨ガ出來ルト云フコトヲ明言シテ居ルト云フコトハ、昨年二月三日付ノ筆記ニ據ッテモ尤モ明瞭ナル點デアリマス、然ルニドノ航路ニ於テモ、而モ均一ニ最高度ヲ以テ致シタト云フコトハ、ドウ云フ根據ガアッタデアリマセウカ、ドウ云フ理由ガアッタデアリマセウカ、勿論或ハ豫算既ニ議會ハ協贊シ終レリト斯言ハレルカモ知レヌ、然リ、然リト雖モ、將來左様ナル不均一、左様ナル法律ノ精神ヲ沒却致シタト云フコトノ行爲ヲ敢テ將來ト雖モ爲スデアラウカ、又爲ストコロノ意見ナルヤ否ヤト云フコトヲ質問セントスルモデアリマス、諸君、我國ノ市街宅地租及郡村宅地租ノ總計ハ諸君モ御承知ノ通り一千六百萬圓前後デアリマス、然ルニ我航路補助金、造船補助金及臺灣航路ノ幾分ヲ合セマスと云フト、合計一千四百萬圓前後ノ多額ニナルデアリマス、即チ我帝國ノ宅地租ノ全體ノ殆ド八割九割マデノ多キヲ舉ゲテ航路補助金、航海獎勵金ニ投資シツ、アルデアリマス、而シテ彼ノ郵船會社ノ如キ、年々歲々ニ一割——一割二分ノ配當ヲ敢テ致シマシテ、而モ拂込金ニ對シテハ——拂込金ニ殆ド近キ各

種ノ積立金ガ出來テ居ルトコロノ會社ニ對シテ、二割三分前後ノ多キヲ配當シナクチヤナラス、引續イテ補助シナケレバナラヌト云フノハ、如何ナル根據ト、如何ナル理由ガアルノデアリマセウカ、諸君、彼ノ東洋汽船會社ニ於キマシテハ、今日ノ株式市場カラ之ヲ計算致シマスルト、同會社ハドノ株券ニ於キマシテモ、即チ普通株ニ於キマシテモ、優先株ニ於キマシテモ、總テ拂込以下デアリマス、否ナ拂込ノ總テ半額ニナルデアリマス、今日ノ株式市場ノ相場カラ計算致シマスルト、同會社ノ眞價ハ會社ノ全部ノ價ヲ舉ゲテ、會社全體ノ價ヲ舉ゲテ二百四十七萬ヨリ價ハナイデアリマス、然ルニ其會社ニ對シマシテ政府ハ二百六十六萬圓ノ多キヲ補助シテ居ルデアリマス、又來年ノ參考書トシテ示サレテ居ルトコロノ來年ノ金額ヲ見マスルト、尙七八十萬圓ノ多キガ加ハリマシテ、二百四十七萬圓ノ多キニ達スルデアリマス、即チ會社ノ實際上ノ全體ノ價格ト殆ド同一ノ金額ヲ補助シ、アル、又保護セントスル狀態デアルデアリマス、凡ソ歴史アツテ以來、會社ノ一會社全體ノ實際ノ價ト同一ノ金額ヲ保護シ來ツタ、又保護シナクチヤナラヌト云フコトハ、又補助スル必要ト云フコトハ、如何ナル理由ト如何ナル根據ガアツテ存スルノデアリマセウカ、而モ同會社ノ内部ノ紊亂ハ非常ニ甚シキ狀態デアツテ、非常ナル紛亂ヲ醸シテ居ルト云フコトハ世上爭ノキ事實デアリマス、政府ハ如何ニ之ヲ監督シ、如何ニ之ヲ指導シ、如何ナル注意ト、如何ナル警告ヲ與ヘツ、アルノデアリマセウカ、諸君、我國民ハ之ヲ農ト致シマシテハ租稅ノ負擔ノ重キ苦ミ、之ヲ商人ト致シマシテハ營業稅其他附加課稅ノ重キ苦ミ、數名ノ子女アリ、數名ノ小兒ヲ有スルトコロノ國民ハ、其曩ニ申シタ納稅ノ義務ヲ完了センガタメニ、非常ノ苦辛ト、非常ノ慘憺ヲ嘗メツ、アルデアリマス、然ルニ諸君、彼ノ高輪ノ一角ニ當リマシテ——芝高輪ノ一角ニ方リマシテ、巍然タル殿堂ヲ造リ、燦然タル金ノ鍍鍍ヲ飾リ、一世ノ贅ヲ試ムルハ彼何人デゴザイマセウカ、總テ夫レ諸君、租稅ナルモノハ民ノ膏デアル、血デアル、涙デアリマス、此故ニ最モ會社ニ親切ニ、最モ會社ニ懇切ニ、熱心刷新ヲ加ヘ、何等非難ナキヲ致シテ初メテ國民ハ之ニ満足スルデアリマス、徒ニ自己ノ贅澤ヲ是レ事トシテ居ル者ニ對シテ、租稅ハ一毫ノ微ト雖モ、一錢ノ僅ト雖モ苟メニモ出來ナイコトハ勿論デアリマスカラ、彼等ハ保護スルノ要ナキモノト本員ハ斷ジテ疑ハヌデアリマス、又政府者ハ何ガ故ニ大ニ會社ノ事務ヲ刷新セシメ、營業ノ秩序ヲ立シメ、依ツテ以テ國民ヲ満足セシムルヤウナ方策ヲ差向ケナイノデアリマセウカ、諸君抑、獎勵ト云フコトハ或ル學者ノ申シマシタ如ク、或ル佛國ノ學者ノ申シマシタ如クニ、子供ガ將ニ立タントスル、立チツ、アル際ニ、容易キ手輕ナル杖ヲ添ヘルニ過ギナイト云フコトハ學者ノ議論トシテ一致セルモノデアリマス、然ルニ滿場ノ諸君——滿堂ノ諸君歲々年々一割二分ノ配當ヲ取テシテ、而シテ幾ド拂込ニ相近キ各般ノ積立金ノアル其會社ニ對シテ、何ガ故ニ二割三分大ノ補助ヲ要スルデアルカ、而シテツレガ獎勵ノ精神ニ適フデアリマセウカ、又諸君、會社ノ紛亂幾ド極點ニ達シ、何等刷新ヲ加ヘザル者ニ政府ハ何モ忠告モセズ、何モ警告モ與ヘズシテ、幾ド名狀スベカラザル彼ノ汽船會社ニ對シテ、何ガ故ニ會社全體ノ實價、總テ船體ノ總テノ價ト同格ノ金額ヲ補助ヲ與ヘルト云フノデアリマセウカ、假ニ與ヘルトシテモ、今日ノ如キ何等指導ヲナサズ、何等警戒ヲ加ヘズ、

何等戒飭ヲ與ヘズシテ、サウシテ以テ多大ノ國民ノ膏血ヲ之ニ投入シテ、恬然トシテ政府者ハ其責任ヲ全ウセリ、政府者ハ其責任ヲ盡セリト云フコトガ云ヘマセウカ、是ガ本員ガ諸君ノ御清聽ヲ煩ハシ、此貴重ナル演壇ヲ瀆シタ所以デアリマス

（政府委員仲小路廉君登壇）

○政府委員（仲小路廉君） 武田君ノ質問ニ御答致シマス、武田君ノ御質問ノ第一ハ、政府ハ被保護會社ニ對スル監督權ヲ嚴格ニ、且適當ニ行使スルヤ否ヤ（高聲ニ望ム）ト呼フ者アリ、遠洋航路、特ニ命令航路ノ國家ニ必要ノ航路デアリマスルト共ニ、國家モ尠ナカラ金額ヲ以テ之ニ補助ヲ致シテ居ルデアリマスカラ、此會社ニ對シマシテ監督ヲ履行致タシ、豫期ノ目的ヲ達スルヤウニ力メマスルコトハ、是ハ政府當然ノ職務ト考ヘテ居リマス、此故ニ當局ニ於キマシテハ今日マデ出來得ル限リノ方法ヲ盡シマシテ、監督ヲ履行致シ、初期ノ目的ヲ達スル點ニ付キマシテハ少シモ意ヲ考デアリマス、併ナガラ遠洋航路ニ從事致シマスル會社ノコトニ付キマシテハ、是ハ一般ノ狀態及經濟ノ有様ニ依ツテ考ヘテ見マスルト、唯今ノ規定ニ於テハ多少監督上遺憾ヲ感ズル點ガ無イデモゴザイマセウカ、此點ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ更ニ此上一方適當ナル處置ヲ採リマシテ、更ニ監督ヲ實行舉ゲルニ足ルベキ方法ヲ盡スコトヲ必要ト考ヘマシテ、此點ニ付キマシテハ不日諸君ノ御協贊ヲ仰ギマスヤウナコトニ立至ルデアラウト存ジマス、ツレカラ第二ノ御質問ノ點ハ一年ト増加シツ、アル不定航路ノ保護金ハ、國家國民ニ著シキ效果實益ヲ與ヘツ、アリヤ否ヤ、遠洋航路、殊ニ海外ニ對スル定期ノ航路ヲ維持シテ參リマスコトハ、交通ノ上ニ於テ立ニ貿易ノ上ニ於テ、國家ニ必要ナル事柄ハ今更申上アルデアリマス、存ジマス、帝國ノ國勢ガ段々隆興ニ赴クニ從ヒマシテ、此海外ニ關スル航路ハ益々發展擴張ヲ來スベキトキガアラウト信ジマス、併ナガラ又一面ニ於テハ國家ノ財政、是等ノ點ニ據リマシテ、保護ノ金額ニ對シマシテハ出來得ル限リ節約ノ方法ヲ採リ、出來得ル限リ緊縮ノ途ヲ採リマスコトハ甚ダ必要ト考ヘテ居リマスル次第デアリマス、此故ニ昨年ノ議會ニ於キマシテ、遠洋航路補助法案ヲ提出致シマシタ當時、或ハ補助ノ金額ガ餘リニ僅少ニ失シハセヌカト云フヤウナ議論モアツタデアリマスガ、幸ヒニシテ兩院ノ御協贊ヲ經マシテ、茲ニ遠洋航路補助法ヲ制定ヲ見タ譯デアリマス、此遠洋航路補助法ヲ制定ニ據リマシテ、幸ヒニシテ是マデ年々底止スルトコロヲ知ラザルマデニ補助額ガ多クナリマス點ニ付キマシテハ、茲ニ一層ノ緊縮ヲ加ヘマシテ、適當ノ地位ニマデ之ヲ節減スルコトヲ得マシタ次第デアリマス、尙郵船會社ノ狀況、之ニ付キマシテハ政府モ巨額ノ金額ヲ支出スル、國家ニ必要ナル航路ニ從事セシメテ居ルデアリマスカラ、此實績ヲ舉ゲルガタメニ監督ヲ盡ス點ニ付キマシテハ平生最モ心ヲ用井テ居ル考デアリマス、而シテ貿易上必要ナル物品其他ニ付キマシテハ、特ニ命令ノ範圍ニ於テツレ——監督ノ方法ヲモ採ラシメツ、アルデアリマス、又同社ニ於テモ此點ハ專ラ力ヲ盡シツ、アルデアリマス、又日清汽船會社ノ點ニ付キマシテハ、イロ／＼創立當時ニ於キマシテハ、商業上不況ノ關係、種々ノコトニ據リ一時ハ甚ダ困難ノ域ニ際會致シタデアリマスガ、當局ニ於テモ最モ此點ニ力ヲ用井、社務ノ整理及經費ノ節約等ニ付キマシテモ種々ニ警告ヲ與ヘ、監督ノ實行舉ゲマシタ結果、近來

ニ至リマシテハ甚ダ有望ナ狀況ヲ呈スルヤウナコトニナリテ居ル次第デゴザイマス、又東洋汽船會社ノ從事致シテ居リマス南米航路ノ點ニ付キマシテハ、昨年議會ニ於テ此事ガ成立シマスルニ付キマシテモ、少ナカラズ困難ヲ經テ航路デゴザイマスカラ、此航路ノコトニ付キマシテモ、一層ノ注意ヲ以テ其成績如何ヲ監視致シテ居リマス、第一回ヨリ二回、二回ヨリ三回ト、是モ漸次良好ノ傾向ヲ生ジマシマス、所期ノ目的ヲ達スルニ付キマシテ遺憾ナキコト、信ジテ居リマス、ソレカラ第三ノ御質問ノ趣意ハ、現時ノ保護金ノ配當方法ハ權衡上實際適當ナモノト考ヘテ居ルカドウカ、此點ハ第二ノ點ニ付キマシテ御答申上ゲマシタヤウニ、既ニ昨年航路補助法ノ制定ニ依リマシテ少ナカラズ補助金額ノ節減緊縮ヲ加ヘマシタデアリマス、當分暫クノ間ハ最高額ニ依リマシマス云フコトハ全ク已ムヲ得ヌ次第デアリマス、此事ハ既ニ昨年ノ議會ニ於テモ詳細申上ゲ、又本年豫算ノ際ニモ其點ハ詳細説明ヲ致シマシテ、茲ニ此金額ノ補助額モ極リマシタヤウナ次第デアリマス、尙將來ニ付キマシテハ實際ノ狀況ト、一般ノ狀態ニ鑑ミマシテ、益々適切ナ方法ヲ取リマスコトニ怠リマセヌコトハ、既往ニ於ケル如ク將來ニ於テモ大ニ之ヲ努メマス考テ居リマス

○武田貞之助君 政府委員ニチヨット質問ガアリマス、暫ク御願ヒシマス(笑聲起ル)政府委員ニ尋ネタイ、第一點ハ昨年ノ上半期ニ於キマシテ八十餘萬圓ノ缺損ヲ突如トシテ東洋汽船會社ガ出シタデアリマス、吾々ガ遠洋航路補助法案ヲ作ッタトキニハ此ノ如キコトハナカッタ、如何ナル原因、如何ナル理由ノ下ニ突如トシテ八十萬圓ノ缺損ガ現ハレマシタカ、ソレヲ第一ニ御尋ネシマス、二ツニツ質問ガアリマス

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 御答致シマス、東洋汽船會社ノ損失ヲ致シマシタ點ニ付キマシテハ、是ハ從前會社ノ計畫ヲ致シテ居リマシタ或ハ油槽船ノ關係、若クハ從前計畫ヲシテ居タ南米航路ニ關係シマス點、若クハ補助ノコトノ定マリマセヌ以前ニ於ケル桑港線、是等ノ狀況ニ依リマシテ漸次引及ボシマシタ結果カラ、其金額ニ立至ッタノデゴザイマス、併シ是ハ一般經濟ノ狀況ト、若クハ亞米利加ニ對シマスル種々ノ關係上、不景氣ニ遭遇シタコトモ亦其理由ノ一デゴザイマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、政府ニ於テハ武田君ノ御質問ニナリマシタル趣意ノ如ク、種々ノ警告モ加ヘマシテ、又ソレノ方法ヲ盡シマシテ調査監督ノ途モ盡シテ居リマス、併ナガラ現在ニ於ケル法令ノ下ニ於キマシテハ、ソレ以上ノ監督ヲ盡シマスル途ニ十分デナイト考ヘル點ガゴザイマス、故ニ先刻申シマシタ通りニ適當ノ方法ヲ立デマシテ、十分監督ノ實ヲ舉リマス途ヲ講ジタイ考テ居ル次第デゴザイマス

○武田貞之助君 尙續イテ質問ガアリマス、唯今ノ説明ニ依リマシテ少シ分リマシタガ、具體的ニ其八十餘萬圓ノ損害ノ中デ、著シイ一ノモノガ如何ナル點ニ於テ、如何ナル事績ニ於テ、ドレダケノ損害ガアッタカト云フ具體的ニ金額ヲ一二點御示シテ願ヒタイノデアリマス、而シテ十分監督ノ途ハナイト申シマスケレドモ、政府ハ航海獎勵法施行法第四十四條ニ於キマシテ、相當監督ノ途ガ開ケテアルデアリマセヌカ、何ガ故ニ監督ノ方法ガナイト云フテ居ルノデアリマスカ、併セテ伺ヒタイノデアリマス、第三ニ伺ヒタイ點

ハ、彼ノ南米航路ハ日々ニ好結果ヲ得ツ、居ルノデアリマス、一船一船三回四回ト日々ニ好結果ヲ得ツ、アルト思ヒマスガ、政府ハ南米ノ航路ニ向ツテ吾々ニ補助ヲ求メタトキニ、同意ヲ求メタトキニ出稼人ヲ重モナル目的トシタト云フコトハ速記錄ニ於テ證明サレテ居ルトコロデアリマス、然ルニ南米ニ對スル出稼人ハ二回ハ一回ヨリ、三回ハ二回ヨリ増加シテ來ッタウガ、良好ニ起イテ居ル實績ハ如何ニシテアルノデアリマセウカ、併セテ御示シテ願ヒタイノデアリマス

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 東洋汽船會社ノ損失ニ屬シマスル内譯ニ付キマシテハ、此處ニ詳細記載シタノヲ持ッテ居リマス譯デアリマス、此事ヲ詳細申上ゲマスコトハ却テ全體ニ對シマシテ甚ダ御迷惑ト考ヘタ次第デアリマスガ(ノウノ)「ト呼フ者アリ」此一ツハ申上ゲマシテ宜シウゴザイマス、桑港線ニ對スル損失ガ三萬三千圓デアッデ、自由航路トシテ南米線ヲ實行致シテ居リマス損失ガ一萬八千二百二十五圓、又不定航船及繫船ノタメニ生ズル損失ガ九萬二千五百六十六圓、是ガ明治四十二年一月ヨリ同年六月ニ至ルマデノ高デアリマス、ソレカラモウ一ツ前年ノコトヲ申上ゲテ置イタ宜カラウト思ヒマス、ソレハ四十二年七月ヨリ同年十二月ニ至ル損失ノ高デアリマスガ、是ハ桑港線ニ於テ三十六萬八千九百七十四圓、自由航路、南米線ニ於テ二十二萬四千八百八十二圓、油槽船ノタメニ十九萬七千七百四十五圓、不定航路ノタメニ三萬二千六百六十四圓、是ガ合セテ八十一萬七千五百六十六圓餘トナリマスノデゴザイマス、ソレカラ又南米航路ノ狀況ニ付キマシテ、其當時ノ以後ノ狀況ハドウデアッタカト申シマスルノニ、第一回ノ亞米利加丸ノ際ニハ豫定ノ人員ヨリモ此際ハ少シ減少致シマシテ、二百九十二人ノ旅客ヲ送ッタ、然ルニ第二回ノ香港丸ノ際ニハ豫定ヨリモ餘程良イ結果ニナリマシテ、八百二十四人、第三回ノ滿洲丸ハ即チ補助金ナシノ船デアリマス、ソレガ八百八十六人、第四回亞米利加丸ハ三百六十五人、當初此法案制定ノ際ニ御説明ヲ致シマシタ通り、約年々三百人程ノ積リデアリマシタガ、此ノ如ク豫定ヨリモ良イ結果ヲ呈シタ一端デゴザイマス

○副議長(肥後龍君) 質問ノ第四ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマスカラ、是ヨリ日程第一ニ入リマス、明治四十年法律第四十四號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第一 府提出
明治四十年法律第四十四號中改正法律案(政 第一讀會)

明治四十年法律第四十四號中改正法律案
第一項中「居留民團立」ヲ削ル

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○政府委員(安廣伴一郎君) 此明治四十年法律第四十四號中改正法律案ハ極

ク簡單ナモノアリマシテ、單ニ「居留民團立」ト云フ字ヲ削ルダケアリマス、是ハ在外ノ指定學校ノ居留民團テ出來マシタ他ノ組合ナド建テ、居リマス學校ノ職員ニモ、此恩給ノ加算ノ恩典ヲ及ボサウト云フタメニ此案ヲ提出シマシタ譯デアリマス、御協賛アラシコトヲ希望シマス

○副議長(肥塚龍君) 次ハ日程第二ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○伊藤大八君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 伊藤君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託致シマス——次ハ日程第三、警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略シマス

第三 警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案 第一讀會

警部補退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

巡查看守退隱料及遺族扶助料法ハ警部補及其ノ遺族ニ之ヲ準用ス

退隱料、一時金及遺族扶助料ノ關係ニ於テハ警部補又ハ巡查ノ勤續年數ハ交互ニ之ヲ通算シ巡查警部補ニ任シ又ハ警部補巡查ニ就職スルトキハ之ヲ勤續ト看做ス判任以上ノ他ノ文官警部補ニ轉任スルトキハ官廳事務ノ伸縮ニ依リ退官シタルモノト看做ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○內務大臣(法學博士男爵平田東助君) 議長

○副議長(肥塚龍君) 內務大臣

(內務大臣法學博士男爵平田東助君登壇)

○內務大臣(法學博士男爵平田東助君) 本案提出ノ理由ニ付キマシテ一言申述ベタイト思ヒマス、近時社會ノ進歩、茲ニ人口ノ増加ニ伴ヒマシテ、警察事故ノ著シク増加シテ居リマスルコトハ今茲ニ改メテ申上ケルマデモナイコト、考ヘマスル、概然ルニ此ノ如キ次第アリマスルカラ、警察官ニ其人ヲ得テ警察機關ノ組織ヲ益々整頓シ、其活動ニ遺憾ナカラシムルコトニ努ムルト云フコトハ實ニ方今ノ急務デアリマス、當局ニ於キマシテモ常ニ注意計畫致シテ居ルトコロゴザイマス、然ルニ現制度ノ下ニ於キマシテハ、巡查ヨリ警部ニ昇進致サセマスルコトノ途ガ甚ダ狹隘ニナツテ居リマス、隨ツテ巡查ノ志願者ニ其人ヲ得ルコトハ甚ダ困難デアリマス、此ノ如キ次第アリマスルガ、今日ノ現制ニ於テハ巡查ニ適當ナル人物ヲ得ルト云フコトガ甚ダムツカシイコトニナツテ居リマスルノデ、是ハ各地ノ狀況ニ於テ比々皆然リト云フ有様デゴザイマス、今日警察ノ事務ハ愈々繁激ヲ加フルトキニ方ツテ、巡查ニ適當ナル人物ヲ得難イタメニ、或ハ警察事故等ノ舉ラ

ザルコトガアリハセヌカト甚ダ憂慮致シテ居ル次第デゴザイマス、因リマシテ地方警察費ノ中テ以テ新ニ警部補ノ職ヲ置キマシテ、之ヲ判任官ト致シマス、サウシテ巡查ノ昇級ノ途ヲ新ニ開キ、隨ツテ適當ノ人物ヲ警察官ニ得タイト、斯様ニ信シマスルコロカラ、即チ今回茲ニ警部補ノ實施ニ伴ヒマシテ、退隱料及遺族扶助料等ノ門ヲ開キマシテ、茲ニ之ニ關スル規定ト致シマシテ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラシコトヲ偏ニ希望致シマス

○副議長(肥塚龍君) 次ハ日程第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○伊藤大八君 本案モ議長指名九名ノ委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 伊藤君ノ發議ニ御異議ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託致シマス——次ハ日程第五ヨリ第十二至リマスル請願ハ、便宜上日程毎ニ委員長ノ報告ヲ承リマシテ、サウシテ順次議スルコトニ致シマス——榊田清兵衛君

(「モット大キナ聲ヲシナイト分リマセヌ」ト呼フ者アリ)

(「小久保喜七君登壇」)

○小久保喜七君 委員長ガ差支ガゴザイマスカラ、理事ノ私カラ報告致シマス

○副議長(肥塚龍君) 日程第五

第五 (特別報告第二十二號)青森港修築ノ請願 (委員長報告)

外二件

○小久保喜七君 日程第五ノ特別報告第二十二號ハ青森港修築ノ請願デアリマシテ、是ト同一ノ趣意ノ請願ガ二ツアリマスルガ、此請願ハ去年ノ議會ニ於キマシテモ貴衆兩院ヲ通過致シマシタシ、相當ト認メテ請願委員會ニ於テハ採擇ト決シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 委員長報告ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ是ハ採擇スルコトニ決シマス——次ハ第六

第六 (特別報告第二十三號)本邦清酢業ニ關スル請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是ハ本邦清酢業ニ關スル請願デ、吉植庄一郎君ノ紹介デゴザイマシテ、其詳細ハ載セテ文書表ニゴザイマス、政府委員ヲ喚出シテ其意見ヲ問ヒマシタコロガ、是ハ相當ナ請願デ、政府ニ於テモ考慮ノ價值ノアルモノデアルト云フコトノ答ヲ得マシタノデ、之ヲ採擇スルコトニ決シマシタ

○副議長(肥塚龍君) 唯今ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ採擇スルコトニ決シマス——次ハ第七

第七 (特別報告第二十四號) 鍼灸術營業取締規則中改正ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是ハ鍼灸術營業取締規則中改正ノ件デ、詳細ノコトハ載セテ文書表ニアリマス、是亦相當ノ請願ト認メテ採擇スルニ決シマシタ

○副議長(肥塚龍君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 採擇スルコトニ決シマス——次ハ第八

第八 (特別報告第二十五號) 郵便局再設ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是ハ郵便局再設ノ請願デ、福井三郎君ノ紹介デゴザイマシテ、去年ノ議會モ通過シテ居ルコトデゴザイマスヲ以テ、本請願委員會ハ採擇ト決シマシタ

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナシト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 採擇スルコトニ決シマス——次ハ第九

第九 (特別報告第二十六號) 郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是ハ郵便局設置ノ請願デアリマシテ、橋本久太郎君ノ紹介デゴザイマス、是ハ去年ハ出ナイ、今年始メテ出マシタモノデゴザイマスガ、能ク其意見ヲ徴スルニ、誠ニ相當ナモノト認メテ是モ採擇スルコトニ決シマシタ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 是モ御異議ナシト認メテ採擇スルコトニ決シマス——次ハ第十

第十 (特別報告第二十七號) 郵便局設置ノ請願 (委員長報告)

○小久保喜七君 是モ郵便局設置ノ件デ、藤澤元造君ノ紹介デゴザイマス、ヤハリ去年ノ議會デ通過ヲ致シテ居リマスモノデ、採擇ト決シマシタ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナシト認メテ採擇スルコトニ決シマス——是デ本日ノ日程ハ終了致シマシタ、報告致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

補助航海ニ従事スル商事會社ニ關スル法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

特殊銀行利子引下ニ關スル建議案

提出者 森

正君

藤井 善助君

○副議長(肥塚龍君) 次回ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御報告スルコトニ致シマス——今日ハ是デ散會致シマス

午後二時十一分散會